



写真:ウスキキヌガサタケ 先端にイシガケチョウがとまる (撮影:平成29年7月11日)

「ウスキキヌガサタケ」

ドレスをまとったキノコ

梅 雨、シトシトと降る雨、時折雲間から日の光が差し込むと、森の中は高まった湿度で一気に蒸し暑くなります。

暗い森の中を歩いていると視界の片隅に木漏れ日を浴び光輝く物体を見つけました。圧倒的存在感を醸し出し鎮座しているキノコ、ウスキキヌガサタケ。

網状の美しいドレスをまといラップシエードのようにも見えます。しかし、その姿に似合わずかなりの悪臭を放ちます。その悪臭で昆虫を呼び寄せ、先端の粘液状の黒い部分に含まれる胞子を食べてもらい、昆虫が移動した先で排出されたふんの中で胞子が発芽し子孫を残す戦略。

このキノコを観察していると、どんな昆虫が集まってきました。飛べない歩行性の昆虫は、このドレスをよじ登りてっぺんにたどり着きます。はしごの役割をしているように見えました。このキノコを介して生き物の無駄のない形態、構造美、機能美に改めて感心させられます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ウスキキヌガサタケ
Phallus luteus

スッポンタケ目スッポンタケ科